

# コロナ対応策と倫理学

コロナ対応策は何を目的とし、どのような基準と論理で行われるべきでしょうか？WHOの倫理指針の作成に携わった経験から分析するとともに、転換点にある日本社会への意味を考えます。



## 広瀬 巖 (ひろせ いわお) 氏

— ご経歴 —

セント・アンドリュース大学 (英国) にて博士号 (PhD) を取得。  
オックスフォード大学 (英国)、ハーバード大学 (米国)、メルボルン大学 (オーストラリア) での研究職を経て、現在マギル大学 (カナダ) 哲学部カナダ特別教授。  
著書に『パンデミックの倫理学』 (勁草書房、2021年)。



パンデミックの極限的環境下において、人間社会は生死にかかわる倫理の在り方について究極的な選択機会を突き付けられています。倫理学の扱う主題に触れ、社会において倫理が果たす機能を考えながら、善悪の基準、公正さなど、人間あるいは社会の本質に向き合ってみませんか。

**日時** 2021年7月16日 (金)

**18:30 ~ 20:00**

※感染防止対策を講じながら運営致します。

**受講料** 35,000円

**申込締切** 7月15日 (木)

※予約サイトからお申し込みください。

**会場**

上智大学 四谷キャンパス  
6号館 6-101 (地図内★マーク)



※正門からご入場ください。

◆お申し込みは  
こちら (予約サイト) から



<お問い合わせ>

上智大学 プロフェッショナル・スタディーズ 事務局

E-mail: web\_kookai-co@sophia.ac.jp



上智大学  
SOPHIA UNIVERSITY